

「人生はむなしい？」

伝道者の書1章1～3節

エルサレムでの王、ダビデの子、伝道者のことば。空の空。伝道者は言う。空の空。すべては空。日の下で、どんなに労苦しても、それが人に何の益になろう。(新改訳)

なんという空しさ／なんという空しさ、すべては空しい。(新共同訳)

むなしい人生

- 【主】はこう仰せられる。「あなたがたの先祖は、わたし(神、主)にどんな不正を見つけてわたしから遠く離れ、むなしいものに従って行って、むなしいものとなったのか。 エレミヤ2:5
- 偶像的な生き方はむなしい生き方
- 「わたし(神)から遠く離れる」生き方
- 人々をむしばむ「退屈病」、つまらない、おもしろくない、、、

むなしい人生

- かつて、神々を神々でないものに、取り替えた国民があっただろうか。ところが、わたしの民は、その栄光を無益なものに取り替えた。

エレミヤ2:11

- 彼らはホレブで子牛を造り、鋳物の像を拝んだ。こうして彼らは彼らの栄光を、草を食らう雄牛の像に取り替えた。彼らは自分たちの救い主である神を忘れた。エジプトで大いなることをなされた方を。 詩106:19-21
(十字架を忘れる?)

ハーディング神学校でのメッセージ

- ハーディングの今年のテーマは「**信頼**」
- 日本の歴史の中から学ぶ信頼
- 太平洋戦争で日本は「神と神の国」のために戦った！
- 「生ける神」天皇と「神国」日本のために
- 「欲しがりません勝つまでは」「ここも戦場だ」「すべてを戦争に」
- 「カミカゼ」、「バンザイ」の意味
- 万歳は祝祷 十字架のメッセージ
- **間違ったものを信頼する**教訓



ハーディングでのメッセージ

- 間違った神、神の国を信頼して生きるむなしさ
- 「虎と翼」から(戦争のシミュレーション)
- 戦後の宗教ブームとその後 神から金へ
- 自分、「目の欲、肉の欲、暮らし向きの自慢」
1ヨハネ2:15-17、ピリピ°3:19(欲望が神)
- 自分の力で生きているのではない
- 死(悪魔)の支配の中で生きる

満ち足りた信頼の人生

- 【主】を恐れることは知恵の初め、**聖なる方を知**
ることは悟りである。 箴言9:10
- **すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わた**
しのところに来なさい。わたしがあなたがたを休
ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだって
いるから、あなたがたもわたしのくびきを負って、
わたしから学びなさい。そうすればたましいに
安らぎが来ます。わたしのくびきは負いやすく、
わたしの荷は軽いからです。 マタイ11:28-30
- 人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし。
いそぐべからず。**不自由を常**と思えば不足なし。
イエヤス

満ち足りた信頼の人生

- イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」十字架と復活によって証明された。 ヨハネ11:25-26
- ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあってむだでないことを知っているのですから
1コリント15:58

満ち足りた信頼の人生

- 人生の答えは神、神の愛に応えて生きること
- 人生は神生（じんせい）、神業（かみわざ）、神といっしょに生きる
- 神といっしょに生きることが永遠のいのち
- 人生は神の永遠の愛と永遠のいのちへの招き。

満ち足りた信頼の人生

むなしい人生は神以外のものを信頼する人生です。私たちの信頼にふさわしいのは私たちの創造者であるまことの神だけです。人生はその神の永遠の愛といのちへの招きです。その愛の招きに応えて、神といっしょに豊かな人生を歩みましょう。

満ち足りた信頼の人生

- 神はいらない
- 神はいらない(入らない)
- 悪魔はいる(入る)
- 神はいる(入る)
- 悪魔はいらない(入らない)